



広報

みんなでつくる、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。

びらとり

No. 746

2025.

7

夏至の伝説 オアシスツリーの夕日 (三風谷)

思いをつなぐ、未来へつなぐ アイヌの伝統と文化、次世代へ継承、さらなる振興へ

マンロー先生を偲ぶ会



6月22日(日)、二風谷にある旧マンロー邸内で「マンロー先生を偲ぶ会」が催されました。

医師・人類学者であるニール・ゴードン・マンロー氏のアイヌの精神文化に関する研究や住民への献身的な医療活動など、その功績を後世に語り継ぐため、平成14年から毎年6月に偲ぶ会が行われていて、二風谷の文化伝承活動のひとつとなっています。

当日は、孫娘であるアイリーン・マンロー女史からメッセージが寄せられ、参列された国立歴史民族博物館 内田順子 副館長が代読しました。



AINU MUSIC LIVE

第12回 ウレクク ～風の谷の響き

アイヌ文化と現代の文化が共演し、一般の方々にも親しみやすい音楽やダンスを通して、アイヌ文化の魅力を幅広い世代に発信するAINU MUSIC LIVEが、7月12日(土)に二風谷ダム周辺ステージで開催されました。町内外から多くの方が訪れ、最後にはきれいな夕日に照らされながら、会場いっぱいにホリッパ(輪踊り)で締めくくりました。

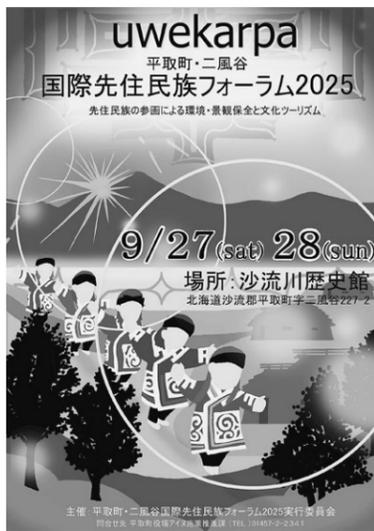


国際先住民族フォーラム2025 開催!

先住民族の参画による環境・景観保全と文化ツーリズム

9月24日(水)～28日(日)の5日間、沙流川歴史館をメイン会場に「平取町・二風谷 国際先住民族フォーラム2025」が開催されます。「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」(平成31年)が制定され、日本における先住民族政策の進展を国内外に示しながら、さらなる拡充の契機とするため、グローバルな課題として関心の高い「文化環境・景観保全と文化ツーリズム」の分野について、フォーラムの成果を平取町とウポポイとの連携により国内外に提示していきます。

27日(土)と28日(日)は、沙流川歴史館レクチャーホールで、海外招聘者からの特別報告、各テーマのセッションが開催されます。また、沖縄県琉球芸能公演も一般公開されますので、町民の皆さまもぜひご参加ください。



公益財団法人アイヌ民族文化財団と 包括連携協定を締結

町は、アイヌ文化の振興、アイヌの伝統等に関する知識の普及・啓発を進め、地域の課題に適切に対応するため、公益財団法人アイヌ民族文化財団(理事長 常本 照樹 氏)と緊密な連携と協力を行うため、6月26日(木)に包括連携協定を結びました。

同財団は、白老町にナショナルセンターとして2020年にオープンした民族共生象徴空間(愛称:ウポポイ)を運営している財団です。本協定の締結により、アイヌ文化の振興、共生社会の実現、教育・研究の振興・発展、人材育成・活用の促進、地域振興ならびに地域間交流・国際交流の促進等において、さらなる連携協力を図り、相互が発展していくことを目指します。具体的な連携内容については、今後、定期的な話し合いのもとに進めていくことになっています。



(前列右から) 阿部 範幸 専務理事(平取町出身)、常本 照樹 理事長

「平取地域イオル再生事業」

日本ビオトープ協会会長特別賞 受賞



アイヌ文化の復興・振興・創造を地域に根ざしながら進める「平取地域イオル再生事業」が、第17回ビオトープ顕彰(NPO法人日本ビオトープ協会)で、協会会長特別賞を受賞しました。

この事業では、二風谷地区にある町有林「イオルの森」、「二風谷コタン」、本町地区の沙流川右岸河川敷地「イオル水辺空間」などにおいて、伝統文化に関わる自然素材の確保をはじめ活動の基盤となる場の整備が進められてきました。「イオルの森」では民芸品の原材料となるオヒョウ、カツラ、クルミなど、「水辺空間」ではチセやゴザに用いるカヤ材(ヨシほか)、ガマなど、伝統的利用植物が持続的に生育できる環境をつくり維持する取り組みが成果をあげ、ビオトープ活動の原点をふまつつ地域文化にも貢献していると評価されました。

6月13日(金)に開催された「ビオトープフォーラムin札幌2025」では表彰式に続き、イオル専門委員会水辺部会座長の平村 徹郎 氏やアイヌ文化振興公社職員等によるチームで事例発表を行いました。イオル整備の仕事だけでなく、その体験を活かしたガイドツアーにより文化観光振興も図るなど、多角的な活動が紹介され好評でした。



7/4 水害タイムライン講演会

地震・津波・水害・土砂災害等、多発する自然災害から、どう命を守るのかをそれぞれの役割を考え、地域での守り方を考えようと、全国各地の災害を検証されている松尾 一郎 氏を招き、タイムライン（事前の防災行動計画）の必要性について講演されました。

地域に暮らす各主体（町・自治会・関係防災機関）が協働し、災害から命を守る「コミュニティ防災」が災害に強い地域づくりにつながり、住民自らの行動が肝要だと話されました。



東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター
客員教授 松尾 一郎 氏

災害に備えるまちづくりを！

7/6 平取消消防団技能訓練大会

消防技術の向上と士気高揚を図る実践訓練が、平取消消防団員・平取消消防署員66名が参加し、親水公園多目的広場（本町）で行われました。全分団が火災を想定した出動放水訓練で「迅速・確実・安全」な消防活動を確認しました。



ひろやす みちよ さん（平取町出身）作
「チクリン、ちかがいにくい」
第4回幻冬舎ルネッサンス絵本コンテスト大賞を受賞！



ハリネズミのチクリンがモグラと
出会い、地下街へと大冒険！

幻冬舎ルネッサンスが主催する第4回絵本コンテストで、平取町出身のひろやす みちよ（廣保 美智代・苫小牧市在住）さんが大賞に選ばれ、出版を記念して、6月26日（木）、遠藤町長を表敬訪問されました。

廣保さんは、富川高校卒業後、北海道総合美術専門学校へ進み、デザイン関係の仕事をする傍ら絵本も描き続け、いつも自然豊かな田舎の風景が思い浮かび作品に活きていると話され、今回の作品も木々や動物が繊細なタッチで描かれ、温かみのある見事な絵本となっています。

現在は、保育士の仕事をしながら絵本を制作していますが、受賞を励みにこれからも描き続けていくと意気込みを語られました。

大賞作品は、電子書籍化されていますが、「見て触れて楽しんでこそ絵本」として、廣保さん自身が書籍として出版されました。



第23回小林組・大基
ミニ動物園 7/7



笑顔がいっぱい！子どもたちの「元気」を応援！



モンキーバーランド
夏まつり 7/12



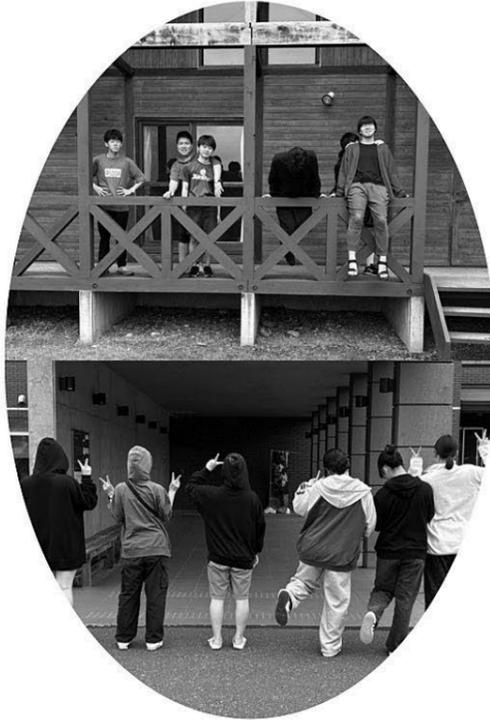
平取町の皆さんに知ってほしい

地域みらい

留学生のおはなし

二風谷キャンプ場で自然を満喫

令和7年6月14日(土)・15日(日)
二風谷キャンプ場へ男女寮生でキャンプに行ってきました。森に入り、川で遊び、パークゴルフに温泉までも満喫。初夏★最高ですね！お騒がせしました(笑)



地域みらい留学☆高校進学フェスin東京2025



地域みらい留学主催：高校進学フェス参加ということで東京へ説明会に行っていました。留学生を代表して寮生2人が頑張りました！都道府県の枠を超え、全国受験希望も今やステータス。その受け入れ高校の1校として平取高校も参画しております。たくさんの中学生と出会って元気をいただけてきました。



Instagramでも地域みらい留学生の日常生活や学校生活の様子を発信しています！
頑張る寮生にエールを！！
(高校魅力化コーディネーター 土佐・飯塚)



6/16 特産品から地産地消を学ぶ体験実習

平取高校3年生の教養コース(フードデザイン)を選択する生徒が、香田農園(紫雲古津)でトマトの収穫や定植の作業を体験しました。特産品であるトマトの生産者としての思いや苦勞、工夫や研究など「農家は総合職」と話す香田文雄氏の姿勢に、町の基幹産業である農業を支えていることを実感する食育授業となりました。今年で13年目を迎えるこの取り組みは、平取高校の特色のひとつです。



魅力ある学校づくりを私たちの手で！

7/1~10 平取高校生コラボポスター展示会



平取高校の魅力を生徒自らが町内外に発信しようと、生徒会がデザイナーとコラボしたPRポスターを制作し、7月1日(火)からふれあいセンターびらとりで展示会を開催しました。町民の皆さんから投票いただき、生徒の熱い思いがこもった作品のなかから魅力を伝えるポスターに「伝統を守り、未来へつなぐアイヌ文化」が選ばれました。



人事異動 (7月1日付)

- 税務課長 兼会計管理者兼出納室長 松島和寿
- 保健福祉課長兼児童館長 兼地域包括支援センター長 兼子育て世代包括支援センター長 兼子ども発達支援センター管理者 三浦明德
- 産業課主幹(林務担当) 土井隆寛
- 兼林務係長
- 総務課主幹(総務担当) 兼総務係長 船越文弥
- 兼選挙管理委員会選挙係長
- まちづくり課主幹(地域戦略・高校魅力化担当) 相田知則
- まちづくり推進担当(ゼロカーボン推進担当) 渡部史久
- 兼ゼロカーボン推進係長
- 産業課主幹(土地改良担当) 吉田晴広



北海道中学校体育大会出場選手激励会

7月15日(火)、中央公民館で北海道中学校体育大会出場選手激励会が行われました。選手を代表して振内中学校3年 川上 莉子さんが「日頃の練習の成果を発揮し、大会で活躍したい」と決意を述べました。中体連全道大会は7月22日から8月3日にかけて開催され、6種目(陸上、野球、卓球、バドミントン、柔道、剣道)18名の選手が代表として出場します。



大会名	期日	開催地	出場選手	学校名	学年	出場種目
第56回北海道中学校陸上競技大会	7/22~24	室蘭市	川上 莉子	振内中学校	3年	女子砲丸投
第76回北海道中学校軟式野球大会	7/29~8/2	木古内町 知内町	臼杵 俊	平取中学校	3年	軟式野球
			佐々木 秀真	平取中学校	3年	〃
			門田 悠杜	平取中学校	3年	〃
			赤石 龍司	平取中学校	1年	〃
			岡本 陽色	平取中学校	1年	〃
			貝澤 心浩	平取中学校	1年	〃
			神田 峰歩	平取中学校	1年	〃
川上 蒼誠	振内中学校	1年	〃			
第55回北海道中学校卓球大会	8/1~3	恵庭市	相田 音琶	平取中学校	1年	女子個人戦
第56回北海道中学校バドミントン大会	7/30~8/1	小樽市	高橋 双葉	振内中学校	3年	女子シングルス
			荻本 峻士	振内中学校	1年	男子シングルス
			松下 陸人	平取中学校	3年	男子シングルス
第53回北海道中学校柔道大会	7/28~30	岩見沢市	鈴木 匠吾	平取中学校	3年	男子個人戦50kg級
			宇南山 未来	平取中学校	1年	女子個人戦40kg級
			萱野 妃奈	平取中学校	1年	女子個人戦44kg級
			高橋 華	平取中学校	1年	女子個人戦70kg超級
第46回北海道中学校剣道大会	7/26~27	苫小牧市	長谷川 結萌	平取中学校	3年	女子個人戦

地域を盛り上げた運動会

6月第1週と第2週の週末に、町内小学校の運動会が開催されました。地域の方々も参加したりなど、楽しく盛り上がった様子が各校で見られました。

【二風谷小学校 6月8日】



スローガン
「楽しもう★勝利の道はその先だ!」

【紫雲古津小学校 6月14日】



スローガン
「みんなと心を合わせて全力ゴール!
~きずなパワーで勝利せよ~」

【貫気別小学校 6月14日】



スローガン
「協力して一生懸命やりきろう!!!」

【振内小学校 6月14日】



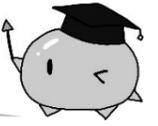
スローガン
「チーム一丸となり、
楽しい運動会にしよう!」

【平取小学校 6月14日】



スローガン
「限界突破~どんな困難があってもけしてくじけないで進んでいこう~」

どの学校も、学びの成果を発揮し、児童の集団としての力や、粘り強く取り組む力を養うなど、一人一人の成長が感じられる教育活動となったようです。また、保護者や地域の方が参加できる競技を盛り込むなど、各校工夫した取り組みが展開されました。1学期の大きな行事が終了し、培った力が今後の活動に活かされていきます。

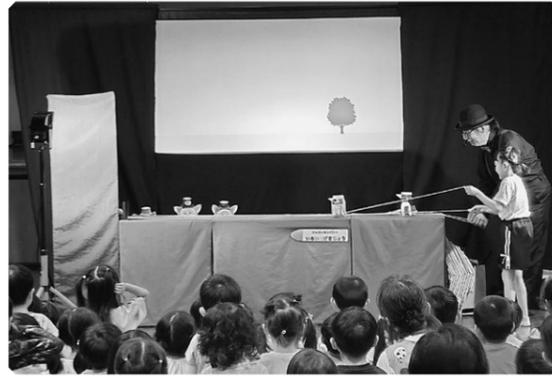


児童・生徒芸術劇場（保育所の部）

6月25日(水)に教育委員会主催の児童・生徒芸術劇場（保育所の部）を開催しました。

今年度は、人形劇団クレヨンカンパニーの「めがねおじさん」こと降幡 行雄 さんに出演していただき、ガラクタ人形劇と影絵劇の公演を行いました。一人でいくつもの人形を操り、進んでいく物語に、子どもたちは引き込まれ、会場内には歓声が溢れかえっていました。

公演後には子どもたちが人形を実際に動かす体験をしたり、人形劇と影絵劇の裏側の仕組みを教えていただき、子どもたちにとって愉快で貴重な体験となりました。



農育教室「いちご狩り体験」開催

6月22日(日)、JA びらとり青年部の山本 渉 氏（日高町平賀）のハウスで「いちご狩り体験」を実施しました。この事業は、教育委員会とJA びらとり青年部の共催事業で、町内の小学生を対象に、収穫体験を通して農業について学ぶとともに、「食べ物」を大事にする心を身に付け、食育を推進することを目的としています。

当日は小雨がちらつく天気でしたが、ハウスに着く頃には雨も上がり、暑すぎない状態でいちご狩り体験ができました。参加した児童は、真っ赤ないちごを紙コップや袋いっぱい収穫しながら、とても小さいいちごを見つけたり、赤くなる前のいちごも獲ったりしていました。「まだ白いいちごを食べてみたら、思ったよりも甘くてびっくりした」など、新しい発見をする子もいました。

いちご狩り体験終了後には、山本さんへの質問コーナーを実施し、いちごはトマトのように追熟しないことや夏のいちごより冬のいちごの方が甘いことなど、大好きないちごについてたくさん学びました。



令和7年度平取町中学校主張大会

6月10日(火)、平取中学校にて令和7年度の町内主張大会が行われました。それぞれの思いが表現力豊かに語られ、聴衆に感動や共感を与えていました。

最優秀の生徒は、7月12日(土)開催の「日高地区少年の主張大会」に出場しました。

- ◎最優秀賞 川上 莉子（振内中）R7 代表
- 優秀賞 花岡 加林（平取中）R8 代表
- 優秀賞 富田 京（振内中）
- 優秀賞 木村 應太（平取中）
- 優秀賞 加藤 蒼太（振内中）
- 優秀賞 外山 漣涼（平取中）



令和8年度の平取町中学校主張大会は開催時期が変更される予定です。

ふるさと給食「ニシパランチ」2025 夏

平取高校「トマトクラブ」が考案したレシピを使ったふるさと給食「ニシパランチ」が、7月15日(火)に町内の小中学校と保育所で実施されました。平取産米、平取黒豚、びらとりトマトを使用した献立で、小中学校は「びらとりトマトのキーマカレー」、保育所は「びらとり三色丼」が提供されました。

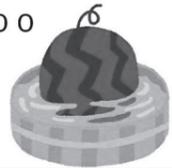
関係者が出席した平取中学校では、平取高校3年生の教養コース（フードデザイン）を選択する生徒により「地産地消」や「フードロス」の講和が行われ、新鮮で安心な地場産物に対する認識を新たにしながら、おいしく「平取産」を味わいました。



図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書（小説・エッセイ）】

『紅色の幻』／あさのあつこ
『音のない理髪店』／一色さゆり
『給水塔から見た虹は』／窪美澄
『情熱』／桜木紫乃
『青の純度』／篠田節子
『谷根千ミステリ散歩 密室の中に猫がいる』／東川篤哉
『パパアから人生』
／夏井いつき
『今日は昨日のつづき』
／谷川俊太郎
『わたしは、あなたとわたしの区別がつかない』／藤田壮真

【児童書】

『一郎くんの写真』／木原育子
『こども 戦争と平和』
／小原雅博
『学校に行かない僕の学校』
／尾崎英子
『リセットルーム』
／はやみねかおる
『うつし屋と大小屋』／廣嶋玲子
『のこったスイカはだれのもの』
／山下明生
『ゲド戦記別冊 火明かり』
／アーシュラ・K.ル=グウィン

【一般書（その他）】

『40代からはじめるあなたの予防医学』／角田拓実
『お年よりと絵本をひらく』
／中村証子
『怖い間取り4全国編』
／松原タニシ
『ファンタジー怪異怪物妖精事典』
／朝里樹
『私たちの暮らしに生かせる南極レシピ』／渡貫淳子
『さんかく浴衣のススメ』
／さんかく
『コーヒーの授業』
／UCC コーヒーアカデミー
『魅力まるごとタカラヅカ!!』
／牧彩子
【絵本】
『チクリン、ちかがいにく』
／ひろやすみちよ
『ウサギのおやっさんのカレーやさん』／キューライス
『おとしものあずかりしょ』
／渋谷純子
『こだいのなぞとふしぎのずかん』
／五十嵐美和子
『すいかのたね』／押本達希

★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

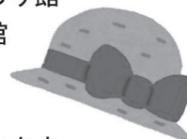
■次回 8月7日（木）

【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■毎月第一木曜日に運行します。

■貫気別支所・振内支所（青少年会館）で返却できます。



図書館カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

夏休み上映会

■上映作品
『野生の島のロズ』（102分）
■7月26日（土）
①午前10時～
②午後1時30分～
■場所 ふれあいセンターびらとり
1階 視聴覚ホール
※入場無料・予約不要です。上映開始時間までにお越しください。

夏休み図書展示

■期間 7月23日（水）～8月22日（金）
■場所 図書館カウンター前

① 自由研究・工作の本

夏休みの自由研究や工作・手芸の本などを展示しています。

② 「こどもたちに読んでほしい200冊」展示

幼児～高校生までの年代別におすすめしたい本を選んだ「200冊」を展示しています。

●オンライン予約ができます●

「ログインパスワード」は図書館のカウンターで発行しています。

【お問い合わせ】平取町立図書館

□ 電話 01457-4-6666
□ FAX 01457-4-6871
□ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

■Web ■携帯



すこやかだより

保健福祉課からのお知らせ

飲酒の新常識

飲酒の新常識 Q & A

Q 「酒は百薬の長」といわれるように、適量ならむしろ健康に良い？

A 最新の学説では、飲まない方が良いと言われています。

約44年前、飲酒と死亡リスクの相関関係を調査したところ、過度のアルコール摂取は死亡率上昇につながる一方で、適量であれば死亡リスクを下げる結果が出ました。

しかし、近年の研究によると、少量であっても飲酒する習慣のある方の場合、全く飲まない方と比べて、高血圧や脳出血、胃がんなどを発症するリスクが高いということがわかってきました。

現在、まだ調査中の部分もありますが、基本的には「健康を考えると、お酒は少量であっても飲まないに越したことはない」と言えるでしょう。

Q お酒は飲み続ければ強くなる？

A ほぼ遺伝で決まるので、強くはなりません。

アルコールを分解する能力は遺伝子で決まります。鍛えて強くなれるものではありません。「私は鍛えて強くなった」という方がいるとすれば、習慣的に飲酒するうちに、酔っ払った感覚が鈍くなり、お酒に強くなったように感じる可能性があります。

その逆で、久しぶりの飲酒だとわずかなアルコールでも脳が「酔っ払った」と自覚しやすくなり、「飲まない間に弱くなった」と感じることもあります。

Q 男性と女性でお酒の強さに差はない？

A ホルモンの影響で女性の方が弱い人が多いです。

女性はホルモンの働きにより、アルコールの影響を受けやすいとされています。また、アルコールの分解速度は体重によって異なり、男性のほうが体格の大きい方が多いので、女性がお酒に弱い理由と言えます。

Q チャンポンすると酔いが回りやすい？

A チャンポン自体は酔いに影響はありません。

日本酒と違う種類のお酒を続けて飲むことを「チャンポン」と言います。チャンポンをすると酔いの回りが早くなると言われることもあり、実際は、酔いやすさは摂取したアルコール量で決まり、お酒の種類が影響することはありません。

Q 歳をとるとお酒に弱くなる？

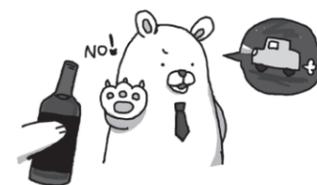
A 歳をとると体内水分量が減り、お酒に弱くなります。

アルコールの分解は体内の水分量に影響を受けます。高齢になると体内の水分量が減り、それに比例してアルコールの分解能力も下がるため、お酒に弱くなると言えます。

お酒好きにとって都合の良い「酒は百薬の長」「飲まないより少し飲んだ方が健康にいい」という説を信じてきた方も多くいらっしゃると思います。

しかし、近年の調査の結果、「酒は百薬の長」と言われていた時代は終わりを告げ、「飲酒は百害あって一利なし」と言われる時代が来ています。飲酒が健康に与える影響を正しく理解し、「一時多量飲酒」「不安や不眠を解消するための飲酒」「他人への飲酒の強要」「病気等治療中の飲酒や服薬後の飲酒」などの飲酒方法は避けましょう。

「あらかじめ量を決めて飲酒する」「飲酒前または飲酒中に食事をする」「飲酒の合間に水を飲む」「飲酒をしない日を設定する」など、健康に配慮した飲酒の方法をお勧めします。



【お問い合わせ】
保健福祉課 保健推進係
（ふれあいセンターびらとり）
☎ 4・6112

- 平取町役場
総務課(代表) ☎ 2-2221
- まちづくり課 ☎ 2-2222
- アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
- 観光商工課 ☎ 3-7703
- 産業課 ☎ 2-2223
- 農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
- 税務課 ☎ 2-2224
- 出納室 ☎ 2-2225
- 建設水道課 ☎ 2-2226
- 議会事務局 ☎ 2-2227

ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111

町民課 ☎ 4-6113

保健福祉課
保健推進係・子育て支援係 ☎ 4-6112

介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114

児童館 ☎ 2-3026
子ども発達支援センター ☎ 2-3400

地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎ 2-3700

平取町教育委員会
生涯学習課 ☎ 2-2619

中央公民館 ☎ 2-2619
町民体育館 ☎ 2-2749

二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892

沙流川歴史館 ☎ 2-4085
図書館 ☎ 4-6666

役場振内支所 ☎ 3-3211

役場貫気別支所 ☎ 5-5204

平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201

平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267

平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024

平取消防署 ☎ 2-2361



ホームページ
QRコード

まちの人口と世帯数

(前月比)

人口	4,434 人	(10 人)
男	2,201 人	(7 人)
女	2,233 人	(3 人)
世帯数	2,429 世帯	(15 世帯)

※令和7年6月末現在の住民基本台帳による

戸籍の窓口

ふるさと納税寄附

令和7年6月寄附件数・寄附金額

1,001件 18,660,500円

令和7年度累計

(4月1日～6月30日まで)

2,778件 53,527,000円

楳の実俳句会

赤子抱く月夜の下のイオンノッカ(子守唄)
 雨降るる賑やか過ぎるハナミズキ
 波走る八十路も走る素足なり
 跣でもかけっこ得意一等よ
 ペッノカに戦争の無き世を願う(天の川)
 登山客にトマトと塩を持たせけり
 突き抜ける少女等の唄夏の空
 堂々と道の真ん中行く毛虫
 こころから湧き出すワッカ手で掬う(水)
 夏パセリ気づかれずとも彩りて
 遠峰もひと雨ごとに万緑に
 開け放し遺影微笑む夏座敷

朝田 雪萌
 遠藤 紫光
 加藤えい子
 川上八重子
 熊谷 厚子
 千葉 俊子
 長野 新一
 中村 節子
 西 希
 野口勢津子
 道政サツ子
 渡辺 正子